

作付け再開の位置づけは

山田町長／町の再生・復興に大きな一歩

渡邊

① 水稲の作付け再開は、町再生の復旧、復興に対するどの様な位置づけと認識されていますか。
② 昨年の農業復興事業の成果と今年の水稲作付け再開に向けた取り組みは、どの様に行われましたか。
③ 本年作付けしなかった水田は、昨年同様の事業で管理する説明がされましたが、この様に行うのですか。

町長

① 町の基幹産業の農業分野で、水稲の作付けが再開されたことは町の再生・復興に向けた大きな一歩だと考えます。収穫時の全量全袋検査で安全性が再確認され、来年度の作付面積が震災前に少しでも近づくことを期待しています。



3年ぶりに作付けが行われた水田

②トラクターによるすき込みと草刈りを実施するなど、農地の適正な保全管理に努めました。

また、町内39箇所の水稲の実証栽培を行い、その実証結果をもとに広野町営農再開検討委員会で安全性を確認頂きました。11月からはゼオライトの散布による土壌改良、カリウムの散布と深耕による放射性セシウムの吸収抑制対策を行い、併せて水路の除染作業を実施しました。

今年2月には水稲の作付けを再開する農家の皆さまに種籾の配布を、4月には元肥として塩化カリウムの無料配布を行い、水稲作付



渡邊 正俊 議員

け再開の支援を行ったところでは。

③作付けをしなかった水田の管理不足による病害虫等の悪影響や景観上の問題も懸念されることから、来年度から作付けを行う農地を対象として、すき込みと草刈りによる水田の保全管理に支援を行うこととしました。



速度制限標識が設置されている町道

主要町道に速度制限標識が必要ではないか

山田町長／現地調査を行い必要な路線は公安と協議

渡邊

① 町内町道の交通規制および設計速度は、どのように決められていますか。
② 各主要町道には、速度制限標識が必要ではないですか。

町長

① 福島県公安委員会、現地調査を行い、広野町との協議により交通規制が行われています。町道の設計速度は、道路を計画する際の技術的基準を定めた道路構造令で、一般の運転者が安全に快適性を失わずに走行できる速度として定めています。② 交通状況等現地調査を行い、速度制限をすることが必要と判断される路線は、福島県公安委員会との協議を行い、速度制限標識の設置を要望します。

中高一貫校の経緯は

山田町長／双葉郡教育復興に関する協議会で検討

塩

① 双葉郡8カ町村で開校を検討している中高一貫校は、いわき市に、双葉郡に、さらには、双葉郡南部に、まだ決定に至っていない現状です。
現在に至るまでの詳しい経過を示してください。
② 今後、町の方針をどのように方向づけるのですか。

町長

① 双葉郡教育復興に関する協議会のなかで、中高一貫校の在り方が検討され、特に設置場所は、当初、いわき市での開校方針が示され、次に、郡内に設置が示され、さらには、双葉郡南部への設置が示されたところです。
② 現在再開している小・中学校をより安全で魅力ある学校とすべく努めています。



塩 史子 議員

また、双葉郡の子どものための教育環境の整備のため中高一貫校の早期開校を求めるとともに、その場所は、除染が進みインフラ整備などの生活環境が整っている所が望ましいと考え、広野町に設置することを文部科学省ならびに福島県に対し要望しているところです。



震災後に改築された実習棟で調理する生徒（中学校）

子ども室内遊び場の設置を

山田町長／早い完成に向け関係機関と調整中

塩

子ども室内遊び場を町内に、も、つくるべきではないですか。町民の帰町の目玉ともなるかと思っています。

町長

施設などの整備に向け関係機関と調整中で、1日でも早い完成に向け努力します。

町の原子力損害賠償の請求方針と内訳とは

山田町長／町として当然に賠償されるべき費用

塩

本町が2011年分として7200万円の賠償を請求しましたが、この請求方針と内訳を示してください。

町長

町として当然に賠償されるべき費用であるという方針のもと第1回目の損害賠償請求をしたところです。
具体的には、各世帯に配布した室内清掃用具の購入費、汚染廃棄物仮置き場整備付帯工事費、学校施設等の樹木伐採費、全国へ避難した児童への就園補助金、避難先の保育所に入所したことによる保育所入所措置費負担金、農地保全のための除草補助金、除染対策グループ職員給与費をはじめ24時間体制による職員の宿日直手当、時間外手当などの人件費など、町が実質負担した分の合計7千253万957円です。
また、平成24年度にかかる請求は、決算がまとまり次第、行う予定です。